

児童発達支援

心・体・社会などの広い視点でお子様の「より良いあり方」を考える姿勢を大事に、支援の工夫をしたいと考えています。

児童発達支援は未就学のお子様を対象です。オリーフでは、発達課題を5つの領域に分けた「5領域」から個々に合わせた支援を設定し、遊びや学ぶ機会を作っています。好きなこと・興味があることから課題を設定し、“楽しい”と感じながら学べる工夫をしています。

健康・生活

健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身に着ける方法。季節の野菜などの栽培を行い食に対する興味関心を育む支援を行います。また遊びの中や日常生活を利用した支援や環境配慮を工夫し生活の流れを学びます。

言語・コミュニケーション

発語につながるように(咀嚼・嚥下・感覚・過敏など)の支援や言葉以外のジェスチャーやカードなど子どもに合った方法を考え支援をします。正確な発音で会話出来るように必要に応じ構音訓練を行います。“要求・報告・聴く・模倣・注目”などの日常会話のスキルを学び社会的な適応力を養います。

運動・感覚

運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚機能を使う事で、身体の動きをコントロールするだけでなく、考える力を伸ばしたり、ホルモンバランスを整え、気持ちや感情のコントロールなど、脳の成長にもつながります。音楽・リズム遊びの活動にも含まれます。

人間関係・社会性

人との関係を意識し、身近な人と信頼関係の土台を築くことで、一人遊びの状態からお友だちと関わりたい気持ちを育てます。遊びや活動に大人が介入してルールを守って遊ぶ・感情に気付いたり・気持ちのコントロールが出来るように経験を重ねていきます。

認知・行動

円滑に活動参加ができるように特性に合わせて、どのような方法、環境の設定を模索し支援します。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し理解できる場面(認知)を積み重ねながら挑戦(非認知)でできる力を持てるように支援します。